

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 9 月 26 日

大阪地方裁判所岸和田支部

裁判所書記官 池 辺 幸

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 10 月 10 日 午前 9 時 00 分から 令和 7 年 10 月 17 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 10 月 24 日 午前 10 時 00 分 場 所 大阪地方裁判所岸和田支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 11 月 14 日 午前 9 時 50 分 場 所 大阪地方裁判所岸和田支部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33 条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 9 月 26 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物 件 目 録

- 1 所 在 岸和田市春木旭町
地 番 6 2 4 番 7
地 目 宅地
地 積 1 8 0 . 9 4 平方メートル
共有者 A 持分 1 2 分の 1
- 2 所 在 岸和田市春木旭町 6 2 4 番地 7
家屋 番号 6 2 4 番 7
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺 2 階建
床 面 積 1 階 9 8 . 9 3 平方メートル
2 階 4 5 . 5 4 平方メートル
共有者 A 持分 2 分の 1

物 件 明 細 書

令和 7 年 7 月 14 日

大阪地方裁判所岸和田支部

裁判所書記官 三 栗 野 力 哉

1 不動産の表示

【物件番号 1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 2】

本件所有者（共有者）A が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号 1, 2】

本件土地建物は共有持分についての売却であり、買受人は、当該物件を当然に使用収益できるとは限らない。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

1 所 在 岸和田市春木旭町

地 番 6 2 4 番 7

地 目 宅地

地 積 1 8 0 . 9 4 平方メートル

共有者 A 持分 1 2 分の 1

2 所 在 岸和田市春木旭町 6 2 4 番地 7

家屋 番号 6 2 4 番 7

種 類 居宅

構 造 木造瓦葺 2 階建

床 面 積 1 階 9 8 . 9 3 平方メートル
2 階 4 5 . 5 4 平方メートル

共有者 A 持分 2 分の 1



令和 6 年(ヌ)第 44 号
令和 6 年 12 月 6 日受理
令和 7 年 1 月 6 日提出

現況調査報告書

大阪地方裁判所岸和田支部

執行官 山 内 恒 雄

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- 1 所 在 岸和田市春木旭町
地 番 6 2 4 番 7
地 目 宅地
地 積 1 8 0 . 9 4 平方メートル
共有者 A 持分 1 2 分の 1
- 2 所 在 岸和田市春木旭町 6 2 4 番地 7
家屋 番号 6 2 4 番 7
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺 2 階建
床 面 積 1 階 9 8 . 9 3 平方メートル
2 階 4 5 . 5 4 平方メートル
共有者 A 持分 2 分の 1

不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	岸和田市春木旭町30番20号	
土地	物件1	
現況地目	☒ 宅地（物件1） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）	
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐	
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者A（債務者）、B（目的建物共有者） ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）	
その他の事項	「その他の事項」のとおり	
建物	物件2	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☐ 主である建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：	
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類： 構造： 床面積：	
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者A（債務者） ☐ その他の者 上記の者が本建物を住居として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）	
その他の事項	「その他の事項」のとおり	
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 令和 年（ ）第 号 保管開始日 令和 年 月 日	
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

その他の事項

■ 表札等の表示

表札の表示 債務者の姓

■ 目的土地の現況について

- 1 概測したところ、形状は概ね土地建物位置関係図のとおりであり、地積は概ね公簿どおりであると思われる。ただし、概測できない部分が存在したので、正確には専門家による調査を要する。
- 2 目的土地は、目的建物の敷地となっている。
- 3 土地建物位置関係図のとおり、カーポートが存在した。
- 4 岸和田市役所で調査したところ、目的土地は建築基準法上の道路に接していない。その他、接面道路については評価書を参照されたい。

■ 目的建物の現況について

- 1 形状は、概ね間取略図のとおりであった。
- 2 内部の状況は別紙添付写真のとおりであり、家財道具、日常生活用品等の動産類が存在した。
- 3 動産類が積み上げられて状況を確認できない部分が多くあったが、確認できた範囲では床面にたわみや損傷、天井に損傷、外壁に亀裂等が随所があり、全体的に損傷が激しいと思われた。

■ その他の状況について

目的土地につき共有持分 $\frac{1}{2}$ の $\frac{1}{2}$ 、目的建物につき共有持分 $\frac{2}{2}$ の $\frac{1}{2}$ が対象である。

以上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■債務者	1 目的建物には、私が居住しています。目的建物共有者Bは、目的建物に居住していません。Bは、私のきょうだいです。 2 共有名義になっている目的建物、目的土地の利用について、契約はなく、賃料等の金銭の授受也没有ありません。 3 目的土地から公道までの通行について、契約はなく、通行料等の金銭の授受也没有ありません。 4 平成30年の大きな台風で目的建物の屋根が壊れて雨漏りしたことがあり、天井にその跡が残っています。屋根は修理しましたので、今は雨漏りはありません。 5 目的建物の床面に損傷、浴室のタイルに亀裂があります。浴室のタイルは、地震によるものです。 以上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

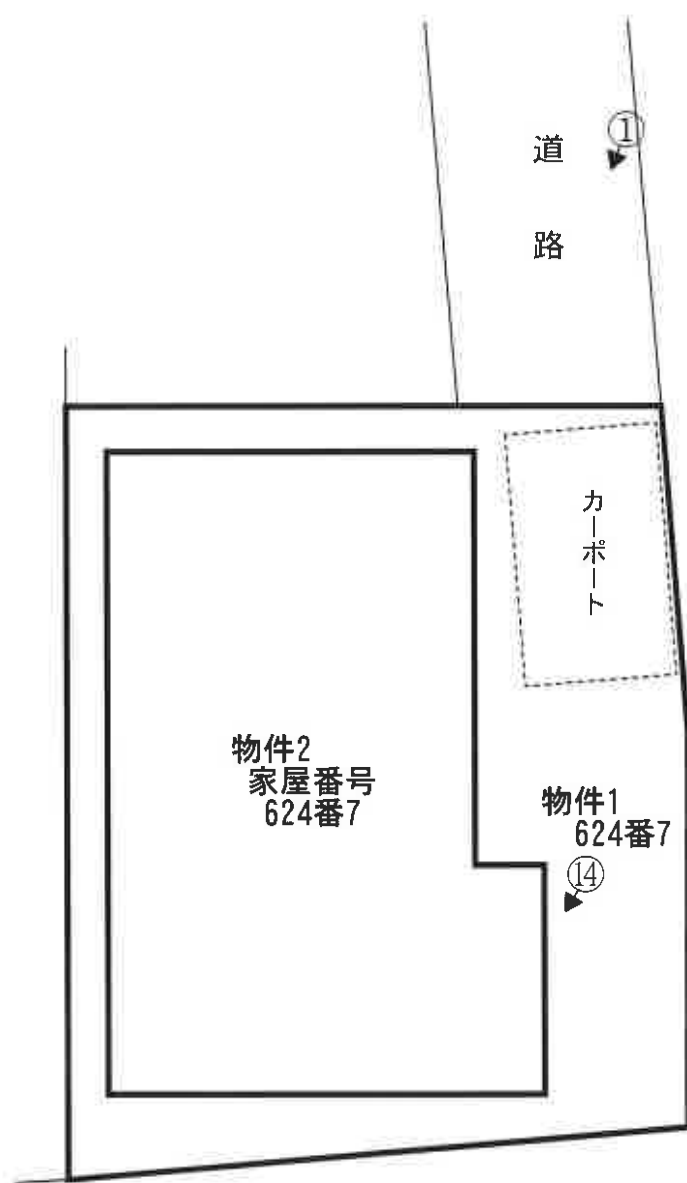
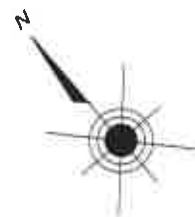
調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
6年12月 9日 14:50-15:05	大阪法務局 岸和田支局	建物図面等調査
6年12月10日 9:35-9:50	岸和田市役所	道路等調査
6年12月10日 10:15-10:30	物件所在地	物件及び占有確認、債務者に連絡文書交付
6年12月24日 9:45-10:15	物件所在地	債務者立会いのもと立入調査、評価人帯同
年 月 日 : - :		
年 月 日 : - :		
年 月 日 : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、 を証人として立ち会わせ、解錠の上建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図

令和6年（又）第44号

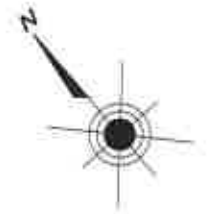
◀○ 写真撮影位置方向



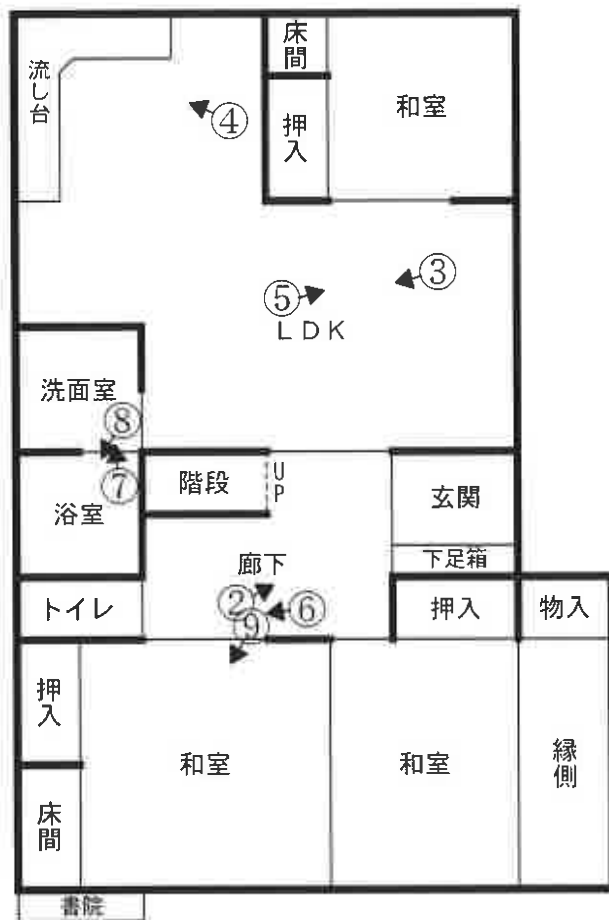
間取略図

令和6年（又）第44号

◀○ 写真撮影位置方向



1階平面図



2階平面図



目的建物



①



②



③



④



⑤

天井の損傷



⑥

床面の損傷



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪

天井の損傷



⑫



ベランダの壁の亀裂



外壁の亀裂

令和6年（又）第44号
令和6年12月24日現地調査
令和7年1月17日評価

大阪地方裁判所 岸和田支部 御中

評 価 書
(土地付建物)

評価人 不動産鑑定士

安松谷博之

履歴事項調査済

第1 評価額

一 括 価 格		
金 760,000 円		
内 訳 価 格		
物件1	金 340,000	円
物件2	金 420,000	円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2の建物のための土地利用権価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、引渡しを受けるために法定の手続きをとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等)等を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番 号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	物件目録記載のとおり	特記事項参照。
2	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積	物件目録記載のとおり	特記事項参照。
番 号	特 記 事 項		
1	・共有持分12分の1の売却である。 ・現地概測数量と地積測量図、物件目録、登記数量は概ね符合する。		
2	・共有持分2分の1の売却である。		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	南海本線 春木 駅 東方 道路距離 約540m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	小規模住宅が多い住宅地域。今後も当分の間現状を維持するものと予測する。	
主な公法上の 規 制 等 (道路の幅員等の 個別的な規制を 考 慮 し な い 一般的な規制)	都市計画区分	市街化区域
	用 途 地 域	第1種住居地域
	建 ぺ い 率	60%
	容 積 率	200%
	防 火 規 制	準防火地域
	その他の規制	第3種高度地区、日影規制、宅地造成工事規制区域
画 地 条 件	規 模	180.94㎡
	形 状	ほぼ長方形
	間 口 ・ 奥 行	間口約4m(北東側)・奥行約15.3m
	高 低 差 等	ほぼ平坦
接面道路の状況 (右記「法」は建築基準法)	北 東 側	幅員約3.9～4m舗装私道(法上の道路か否か未判定)に概ね等高に接面
	北 西 側	幅員約3.6m舗装私道(法上の道路に非該当判定済)に概ね等高に接面
	接 道 状 況	中間画地
土地の利用状況等	現 況	専用住宅の敷地
	南 東 側	住宅
	北 東 側	道路・住宅
	南 西 側	畑
	北 西 側	住宅ほか
供給処理施設	上 水 道	あり
	ガ ス 配 管	あり
	下 水 道	あり
(注)供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管(以下、「施設管」という。)が通っており、通常の費用で敷地内への引込みが出来る状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。		
土 壌 汚 染 等	土壌汚染対策法等、特定施設に係る公的資料調査、土地の閉鎖登記簿、昭和42年・46年・62年の住宅地図、地元精通者への聴取調査による限りにおいては、土壌汚染の可能性は確認できなかった。 土壌汚染の有無及びその内容について確実な情報を得るには、土壌汚染調査会社による調査を要する。	
特 記 事 項	・敷地境界が不明確であり、正確には専門家による調査、測量を要する。 ・私道の突き当たり部分に位置する。 ・北西側で目的土地の一部が私道(共有通路)に接しているが出入りできない。よって増加要因と見做さない。 ・カーポートがある。 ・建物再建築に際しては、建築基準法第43条第2項2号の許可を要する。	

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物	
建築時期及び 経済的残存 耐用年数等	建築年月日(登記記載) 昭和62年3月3日 新築 経過年数 38 年 経済的残存耐用年数 0 年	
仕 様	構 造	木造
	屋 根	瓦葺
	外 壁	吹付ほか
	内 壁	クロス貼ほか
	天 井	クロス貼・板貼ほか
	床	タタミほか
	設 備	電気、ガス、給排水等
	そ の 他	特になし
床面積(現況)	延 144.47㎡ 増築はなく、登記と現況数量は同じである。	
現 況 用 途 等	階 層	2階建
	現 況 用 途	居 宅
	間 取 り	6LDK
品 等	中位	
保 守 管 理 の 状 態	経年相応以上の摩滅・老朽化が認められる。保守管理の状況はやや劣る。	
建 物 の 利 用 状 況	債務者兼所有者(共有者)が家族と共に占有している。	
特 記 事 項	・外壁にクラックが見られる。 ・動産類が積み上げられ、床面等の状況を確認できない部分が多くあった。 ・床面に撓みや損傷箇所が多数ある。 ・内壁や天井クロスの損傷が散見される。 ・2階和室の天井に、過去の雨漏りにより剥がれ落ちている箇所がある。 ・浴室のタイルに亀裂がある。 ・建築確認は申請しているが、検査済証はない。 ※アスベスト含有建材使用の可能性について 目的建物の建築時期、構造、用途等より、アスベスト含有建材使用の可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の有無等、詳細については専門調査機関による分析調査を要する。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1 (土 地)

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) オ(ア×イ×ウ×エ) (千円未満四捨五入)
1	73,000	0.87	180.94	0.80	9,193,000

ア 標準画地価格(公示価格等からの規準)

地価調査 岸和田(府)ー3

基準地価格 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格

$$105,000 \text{ 円/㎡} \times 100/100 \times 100/102 \times 100/141 = 73,000 \text{ 円/㎡}$$

◇時点修正:公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正:	※接面・方位	規模	形状	その他	総合(相乗積)
	1.02	1.00	1.00	1.00	1.02

※接面・方位:方位 1.02

◇地域格差:	街路	接近	環境	行政	総合(相乗積)
	1.16	1.01	1.20	1.00	1.41

イ 個別格差:	※接面・方位	規模	形状	※その他	総合(相乗積)
	1.01	1.00	1.00	0.86	0.87

※接面・方位:二方路 1.00, 方位 1.01 ※その他:間口狭小 0.95, 行止まり部分 0.90

ウ 地積:登記数量による。

エ 建付減価:建物の築後年数や損傷状態等を考慮した。

② 物件2 (建 物)

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延 床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ=エ (千円未満四捨五入)
2	180,000	144.47	0.03	780,000

ウ 現価率

経過年数 約38年

経済的残存耐用年数 約0年

観察減価 50%

残価率 5%

耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を査定した。

$$\text{現価率} = \{ \text{残価率} 0.05 + (1 - 0.05) \times (\text{経済的残存耐用年数} 0 \text{年} / (\text{経過年数} 38 \text{年} + \text{経済的残存耐用年数} 0 \text{年})) \} \times (1 - 0.5) \approx 0.03$$

※観察減価は建物保守状況や中古建物に係る市場の特性等を考慮して査定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ=ウ (千円未満四捨五入)
1	9,193,000	0.10	場所的利益	919,000

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) (1①オ、1②エ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	共有 持分 ウ	占有 減価 エ	市場性 修正 オ	競売市 場修正 カ	その他の 控除減価 (敷金等) (円) キ	評価額 (円) (ア+イ)×ウ×エ×オ×カ-キ =ク (万円未満四捨五入)
1	9,193,000	-919,000	1/12		0.70	0.70	-	340,000
2	780,000	+919,000	1/2	1.00	0.70	0.70	0	420,000
一括価格 (合計)								760,000

ウ 占有減価率

本件の場合不要

エ 市場性修正率

本件は共有持分の評価であり、完全所有権と比較して市場性が劣ること等を考慮のうえ、市場性修正率として30%の減価を行うことが妥当と判断した。

オ 競売市場修正率

第2の評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮のうえ、競売市場修正率として0.70を乗じた。

カ その他控除減価

本件の場合不要

第6 参考価格資料

1 地価調査 岸和田(府)ー3

所 在 : 岸和田市春木旭町852番3 「春木旭町34-16」
価 格 : 105,000円/㎡
位 置 : 南海本線 春木 駅 北東方 約450m(道路距離)
価 格 時 点 : 令和6年7月1日
地 積 : 132㎡
供給処理施設 : 水道, ガス, 下水
接 面 街 路 : 南西4.7m市道
用 途 指 定 等 : 第1種住居地域(建ぺい率60%, 容積率200%), 準防火地域
地 域 の 概 要 : 中小規模の一般住宅を中心とした住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和6年度)

物件1	10,519,851 円 (うち、持分12分の1)
物件2	1,946,574 円 (うち、持分2分の1)

第7 附属資料の表示

- 1 受命物件の位置図
- 2 公図(写)
- 3 地積測量図(写)
- 4 建物図面・各階平面図(写)
- 5 土地建物位置関係図(概略)
- 6 間取図(概略)

以 上

物 件 目 録

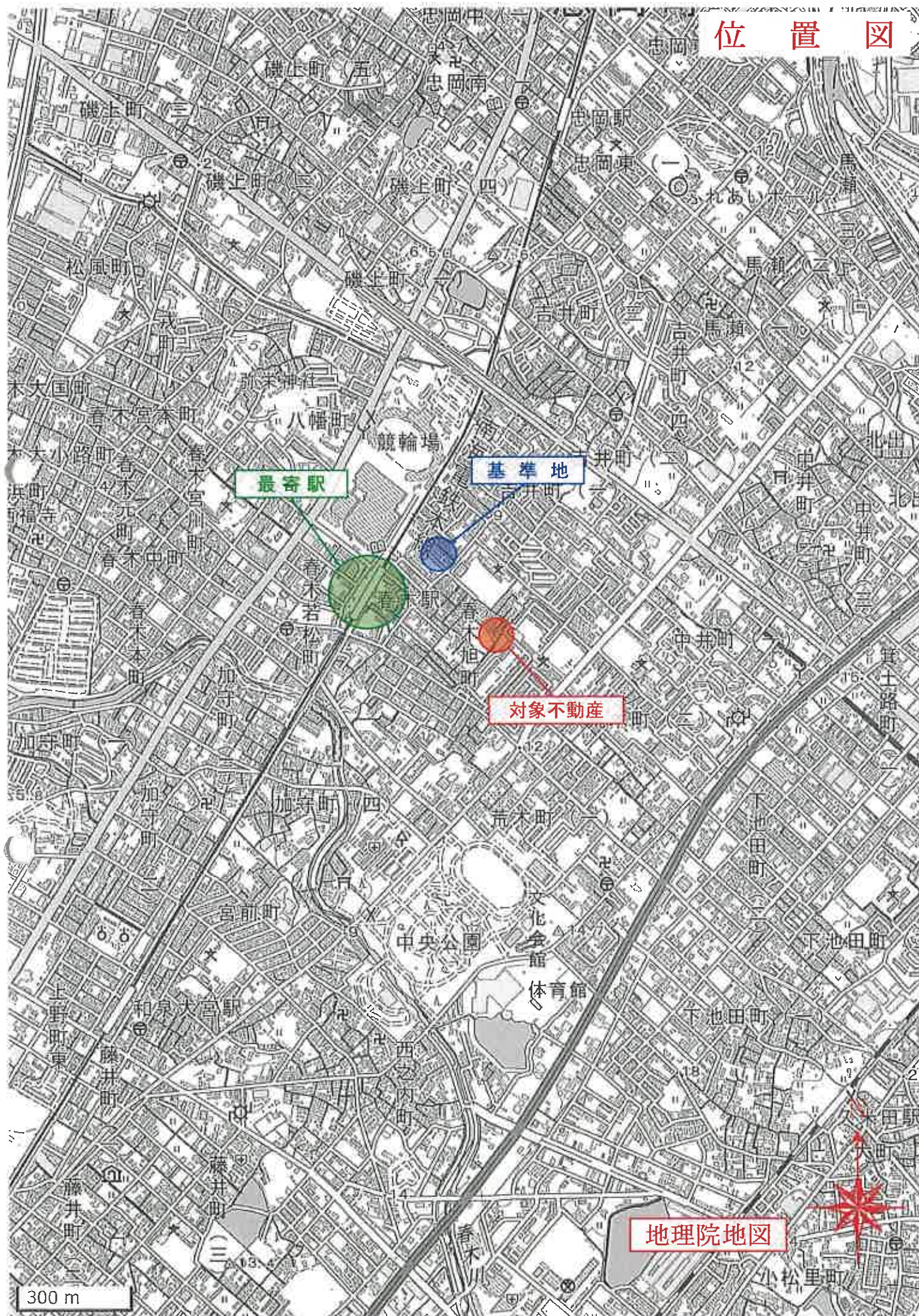
1 所 在 岸和田市春木旭町
地 番 624番7
地 目 宅地
地 積 180.94平方メートル

共有者 A 持分12分の1

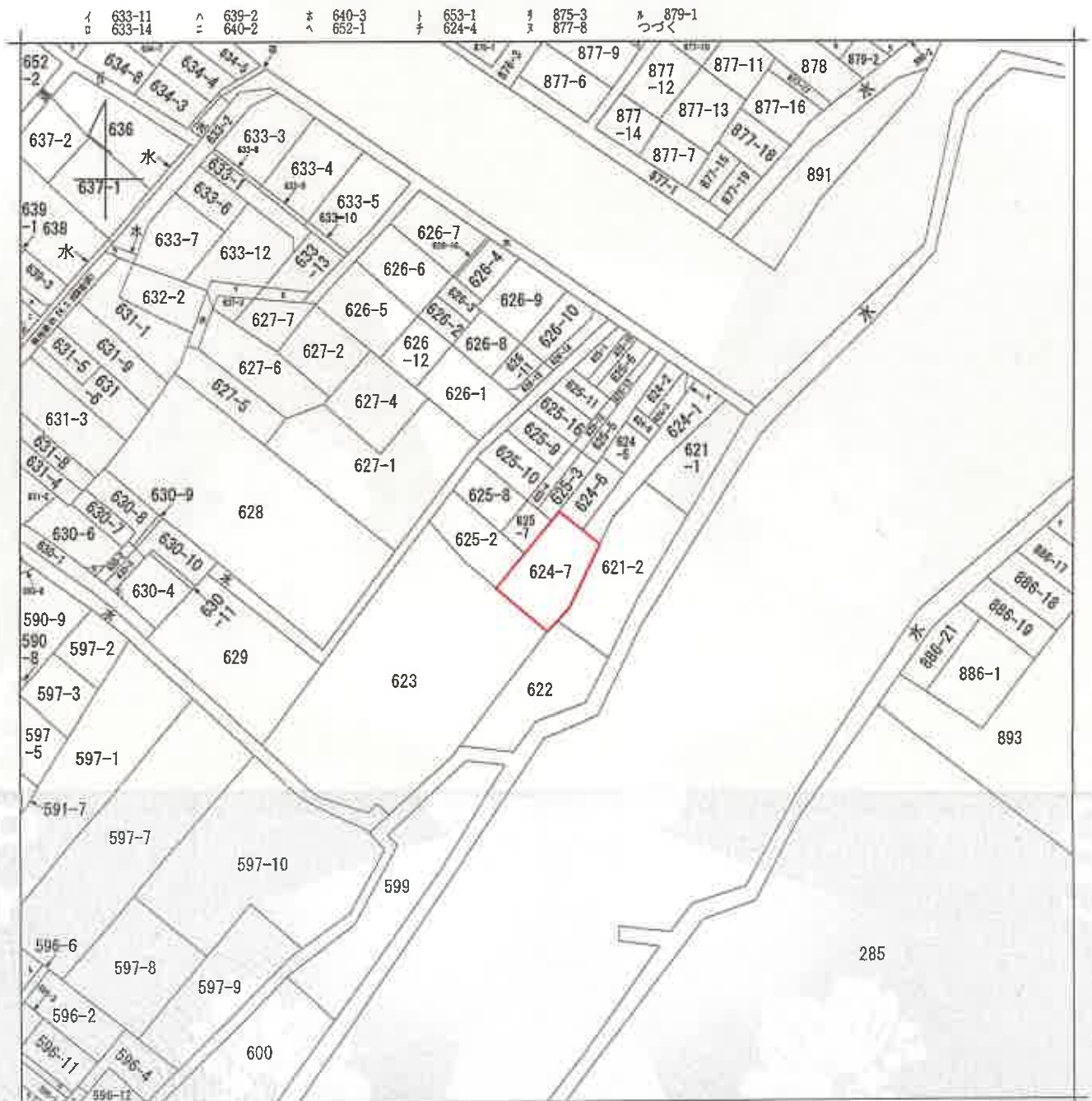
2 所 在 岸和田市春木旭町624番地7
家屋 番号 624番7
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 98.93平方メートル
2階 45.54平方メートル

共有者 A 持分2分の1

位置図



公 図 写



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	岸和田市春木旭町					地番	624番7		
出力縮尺	縮尺不明	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日					備付年月日(原図)			補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

(大阪法務局岸和田支局管轄)
令和6年10月30日
東京法務局

請求番号：11-1
(1/2)

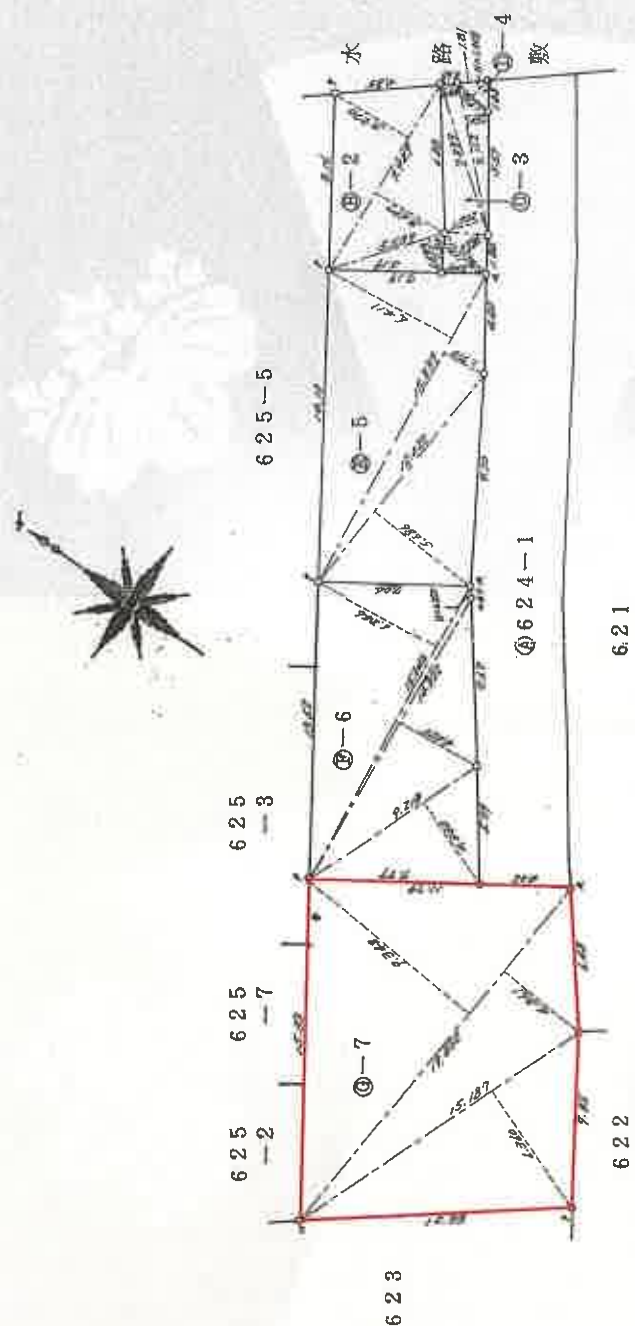
登記官



A4判に縮小

土地の所在

前 624 後・新 25-1 ~ 25-7 地積測量図 2



業界表示記号	
S	石
C	コンクリート系
P	プラスチック系
H	金属
M	木

著 製 作

申請人

縮尺 $\frac{1}{250}$

A4判に縮小

043653

地積測量図 2-2

地番 624-1-1-7

土地の所在 岸和田市春木旭町

** サウザ キユウキヒヨウ **					
サハツ	NO	タイハツ	タカサ	ハツイセキ	サセキ
㊦ 624 -2	1	5.539	1.693	9.377527	
	2	9.929	3.697	36.707513	
	3	9.929	3.970	39.418130	
㊦ 624 -3	1	7.112	1.032	7.339584	
	2	7.239	0.665	4.813935	
	3	7.239	1.902	13.768578	
㊦ 624 -4	1	2.754	1.311	3.610494	
	2	2.754	1.341	3.693114	
	3	2.754	1.341	3.693114	
㊦ 624 -5	1	12.022	5.686	68.357092	
	2	15.839	1.910	30.252490	
	3	15.839	6.411	101.543829	
㊦ 624 -6	1	9.218	4.540	41.849720	
	2	14.822	4.025	59.058550	
	3	15.246	0.220	3.354120	
㊦ 624 -7	1	15.187	6.360	96.589320	
	2	19.352	4.361	84.394072	
	3	19.352	9.348	180.902496	
㊦ 624 -1	1	575.200000	575.200000	575.200000	
	2	441.404283	441.404283	441.404283	
	3	133.795717	133.795717	133.795717	

作製者

申請人

縮尺

1/

A4判に縮小

S62.3.6

各階平面図

342057

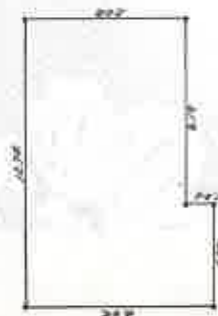
建物図面

624-7

家屋番号

建物の所在
岸和田市 善木旭町 624番地 7

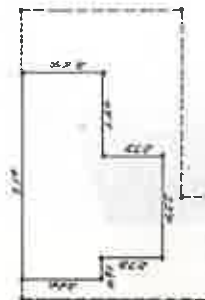
1 階



** 功 能 性 **

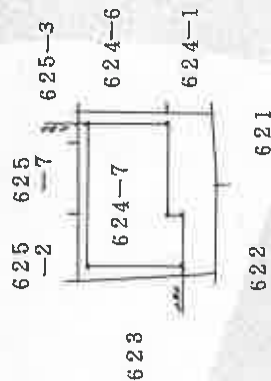
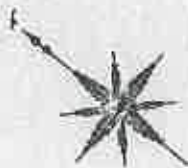
12.74 X 9.28 = 92.7472
4.55 X 2.73 = 6.1880
ク イ 98.9352
98.93

2 階



** 功 能 性 **

9.10 X 3.64 = 33.1240
4.55 X 2.73 = 12.4215
ク イ 45.5455
45.54



作製者

縮尺

1/250

申請人

縮尺

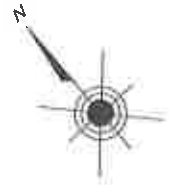
1/500

A4判に縮小

土地建物位置関係図

令和6年（又）第44号

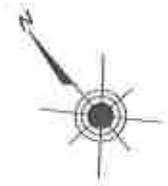
◀○ 写真撮影位置方向



間取略図

令和6年（又）第44号

◀○ 写真撮影位置方向



1階平面図



2階平面図

